

# 款 8 土木費

## 項 1 土木管理費

### 目 1 土木総務費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
615,321,900 円	602,668,739 円		12,653,161 円

〔一般職給〕 4 4 人 365,917,675 円（その他特財 53,871,710 円）  
 〔嘱託職給〕 2 人 5,225,938 円

#### （建築指導課）

〔事故繰越〕 12,624,900 円

目的	道路後退用地整備事業の推進				
指標	適正処理	目標	適正処理	実績	整備事業実績
説明	平成 13 年度より繰越の大矢知町地内後退用地整備について、29.509m、47.37 m <sup>2</sup> の工事（擁壁、防護柵工事）を完了しました。				

〔狭あい道路対策費〕 12,624,900 円

〔現年度事業費計〕 218,900,226 円

#### （建設管理課用地対策室）

目的	未登記道路・水路の解消				
指標	処理件数	目標	1 0 0 件	実績	1 1 1 件
説明	未登記道路・水路を解消するための調査・測量・分筆を行い、権原の取得と所有権移転登記を行った結果、1 1 1 件の未登記土地が解消されました。				

〔未登記道路調査事業費〕 26,894,234 円

目的	法定外公共物の譲与申請				
指標	期限内処理	目標	6 地区の譲与	実績	譲与完了
説明	市内 6 地区の法定外公共物について譲与が完了し、計 8 地区の譲与が完了しました。また、新規 1 0 地区について機能判定及び特定作業を行いました。				

〔法定外公共物等特定事業費〕（緊急雇用創出） 16,456,233 円

#### （営繕課）

目的	適正な設計、現場監理及び監督の実施				
指標	依頼件数	目標	適正処理	実績	1 2 6 件
説明	各部から依頼された市有建築物の新築、増築、改築及び改修工事を行いました。工事の執行に際しては、事業の効率化を図り、ランニングコストを考慮した整備、環境負荷の低減、バリアフリー化の推進等に努めました。				

〔営繕事務費〕 5,857,819 円

#### 営繕受託業務の状況

区 分	主 な 工 事	計
総務・市民関係施設	市庁舎非常用蓄電池・分電盤改修工事 常磐地区市民センター空調設備改修工事 あさけプラザ浴室設備改修工事	1 8 件
保健福祉関係施設	ときわ保育園他 1 1 園空調設備設置工事	1 6 件

	中央老人福祉センターエレベーター設置他改修工事	
環境関係施設	近鉄四日市駅前公衆トイレ改築工事	5件
商工・農水関係施設	ふれあい牧場自動授乳システム設置工事 食肉センター汚水処理施設改修工事 四日市競輪場改修工事	16件
建設関係施設	登城山市営住宅電気容量改修工事 あさけが丘市営住宅住戸改善工事	10件
都市計画関係施設	中央緑地便所改修工事	1件
下水道関係施設	日永浄化センター管理棟水質試験室改修工事	3件
消防関係施設	内部分団車庫改築工事	6件
教育関係施設	河原田小学校他14校空調設備設置工事 内部小学校耐震補強工事 保々中学校バリアフリー化工事 赤堀教育集会所バリアフリー化工事 文化会館パッケージエアコン更新工事	51件
合計		126件

### (建築指導課)

目的	建築確認の審査、検査				
指標	完了検査率	目標	77%	実績	77%
説明	建築基準法に基づき、建築確認申請の審査、完了検査を行い、強度・防火性能等、建築物の安全に努めました。				

建築確認申請件数・計画通知件数等			
	建築物	建築設備	工作物
建築確認申請件数	1,850件	41件	103件
建築確認変更申請件数	358件	3件	6件
建築確認完了検査件数	1,546件	53件	110件
完了検査済証交付件数	1,449件	58件	112件

目的	既存建築物の安全確保の推進				
指標	平均定期報告率	目標	79.5%	実績	77.9%
説明	特殊建築物等の定期報告制度に基づく審査・査察業務、防災講演会・建築防災キャンペーンを行い建築物の防災指導に努めました。 既存木造耐震診断について、他行政庁、関係団体との協議を行い平成15年度実施が可能となりました。				

建築物等の定期報告件数			
	報告すべき件数	報告件数	是正指導件数
特殊建築物	538件	348件	177件
昇降機	983件	944件	0件
建築設備	1,216件	841件	223件

目的	違反建築物対策の推進				
指標	適正処理	目標	15回	実績	違反パトロール回数 13回(20地区)
説明	違反建築物防止のために市内各地区のパトロールを行い違反建築物防止の推進に努めました。違反防止週間には、一斉パトロールを行ないました。				

目的	居住環境の向上を進める				
指標	適正処理	目標	適正処理	実績	建築協定 1 件
説明	<p>誰もが使いやすい建築物の建築を推進するため「ハートビル法」や「三重県バリアフリーのまちづくり推進条例」に基づく助言指導、また「四日市市都市景観条例」に基づく大規模建築物等について協議・助言による街並み景観などの居住環境の向上に努めました。</p> <p>また、建築協定については、浮橋・采女ヶ丘地区について相談・説明会の実施を行いました。なかでも采女ヶ丘については、住民との協働により建築協定の再締結につながりました。</p>				

三重県バリアフリーのまちづくり推進条例に基づく協議件数	74 件
都市景観条例に基づく大規模建築物等の届出件数	28 件

目的	事務局業務の運営				
指標	適正処理	目標	適正処理	実績	3 回
説明	四日市市建築審査会、四日市市建築紛争調停委員会を開催いたしました。				

目的	民間確認検査機関との連携・業務移管				
指標	適正処理	目標	適正処理	実績	確認 79 件 完了 44 件
説明	<p>民間確認検査機関の確認済証交付報告書及び完了報告書の処理をしました。</p> <p>民間確認検査機関との協議を行ない、民間確認検査機関の設立・民間への確認申請受付のシフト等について検討を行ないました。</p>				

目的	相談業務				
指標	適正処理	目標	適正処理	実績	24 回
説明	三重県建築士事務所協会四日市支部の協力を得て、建築一般相談を毎月 2 回行ないました。				

〔建築指導事務費〕 3,351,524 円（その他特財 3,351,524 円）  
 〔建築審査会委員報酬〕 7 人 83,000 円  
 〔建築紛争調停委員会委員報酬〕 7 人 100,200 円

目的	道路後退用地整備事業の推進				
指標	適正処理	目標	適正処理	実績	整備事業実績
説明	<p>道路後退用地整備事業は、167 件、3,417.548m の整備工事を行い、平成 5 年度からの整備延長距離は、32,966.759m となりました。事務処理は全件適正処理し、生活環境整備の推進に努めました。</p> <p>生垣転換交付助成は 1 件となっております。</p>				

〔狭あい道路対策費〕 150,676,216 円

狭あい道路後退用地整備事業実績				
区分	寄付	舗装等の整備	助成金の交付	件数
件数（件）	158 件	167 件	測量分筆登記	156 件
延長（m）	2,876 m	3,418 m	支障物件除去	95 件
面積（㎡）	1,776 ㎡	2,220 ㎡	生垣転換助成	1 件

目的	許可業務等の適正な処理
----	-------------

指標	適正処理	目標	適正処理	実績	申請取扱件数
説明	建築物等の許認可について適正処理を行いました。 中高層建築物等の建築に伴う相隣問題については「四日市市中高層建築物等の建築に係る紛争の予防と調整に関する条例」に基づき紛争の未然防止に努めました。 また、平成14年度5月からの建設リサイクル法届出受付により、建築物等の解体工事等にかかる特定建設資材について、分別解体及び再資源化の促進による環境配慮に努めました。 白地地域の形態規制については、地域の特性に応じた規制値を定めるための基礎資料となる調査を実施しました。				

〔白地地域基礎調査費〕 3,821,549円（国支出金 1,225,000円）  
 〔建築紛争あっせん調停事務費〕 9,000円

許認可等申請取扱件数	
法第7条の6等（仮使用承認）	6件
法第43条（道路状空地許可）	2件
法第44条（道路内建築許可）	1件
法第85条（仮設建築物許可）	29件
中高層建築物等の建築に係る紛争と調整に関する条例に基づく届出件数	52件
建設リサイクル法に係る届出件数	282件
通知件数	8件

## その他経費

〔建築指導事務費〕  
 ・一般経費 10,906,451円（県支出金 113,000円）  
 （その他特財 10,793,451円）

〔全国建築審査会協議会等負担金〕  
 ・全国建築審査会協議会負担金等 744,000円（その他特財 714,000円）

## 項2 道路橋梁費

### 目1 道路橋梁総務費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
666,041,000円	609,869,771円	52,505,250円	3,665,979円

〔一般職給〕 63人 538,298,051円  
 〔再任用職給〕 2人 7,618,949円

目的	道路・河川等の財産管理				
指標	道路の認定・変更件数	目標	必要件数の適正処理	実績	認定67件 変更9件
説明	道路の認定・変更を適切に処理するため、道路法に基づく道路台帳の整備と附図の修正を実施するとともに、道路現況平面図のデジタル化に着手しました。				

〔道路台帳整備事業費〕 14,994,000円

目的	国・県道の整備促進				
指標	国・県要望回数	目標	国県各1回	実績	国県各1回
説明	第二名神高速道路東海環状自動車道及び国道1号北勢バイパス並びに国道477号等の整備促進を図るため、各期成同盟会による国、県、関係機関への陳情を行いました。				

〔負担金〕

- ・三重県北勢地域幹線道路事業促進連絡協議会 1,800,000円
- ・国道477号(四日市～竜王間)整備促進期成同盟会 150,000円
- ・日本道路協会等負担金 2,271,806円
- ・広域基幹道路整備基金積立金 15,036円

目的	道路・河川・水路等の境界査定				
指標	処理件数	目標	1000件	実績	854件
	待ち時間		30日		31日
説明	景気低迷による土地取引の減少により、件数が目標より若干下回った。待ち時間については概ね目標を達成したが、必要な人員確保に向けて努力し、さらなる短縮を目指します。				

〔境界査定事業費〕

1,900,500円

### その他経費

〔一般経費等〕

42,821,429円

## 目2 道路維持費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
286,250,000円	277,481,003円		8,768,997円

目的	適切な維持管理				
指標	発見当日の道路損傷の修復率	目標	100%	実績	100%
説明	通行の安全性と円滑な道路環境の維持を図りました。 道路パトロール班の日常点検により、ポットホール等の路面損傷箇所の早期発見と早期補修に努めました。				

〔道路路面清掃費〕

5,994,450円

〔道路雪氷対策費〕

5,396,475円

〔道路維持修繕費〕

132,485,010円

〔工事用材料費〕

32,856,479円

〔道路補修費〕

61,499,550円

〔補修用材料費〕

19,434,780円

目的	放置車両の撤去				
指標	道路障害撤去及び不法占用等排除件数	目標	撤去要請車両の適正処理	実績	46台
説明	路上に放置されて通行支障となっている自動車を警察と連携して撤去しました。				

〔放置車両対策費〕

264,860円

### その他経費

〔一般職給〕

5,407,000円

〔一般経費〕

14,142,399 円

## 目3 道路新設改良費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,576,181,000 円	2,331,036,338 円	244,027,000 円	1,117,662 円

## 〔明許繰越〕

413,910,000 円

目的	幹線街路及び市内幹線道路の整備				
指標	市内幹線道路の整備率	目標	100%	実績	84.8%
説明	円滑で安全な道路ネットワークの構築を目指して、小杉52号線、阿倉川西富田線の整備促進に努めました。平成15年度末に小杉52号線が供用開始（見込）になれば、赤堀山城線から海蔵川を渡ることができ、渋滞緩和が期待できます。 実績は大鐘19号線を代表しました。				

## 〔特定資金公共投資事業〕

150,000,000 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・小杉52号線 (小杉町地内)	工事費 橋台工 N=1 基 橋脚工 N=2 基 護岸工 A=367 m <sup>2</sup> 取付道路工 L=53.1 m 事務費	150,000,000	市債 (特定資金)	75,000,000
			市債	75,000,000
特定資金公共投資事業 計		150,000,000		150,000,000

## 〔臨時交付金事業〕

59,130,000 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・阿倉川西富田線 (大字羽津及び 別名六丁目地内)	工事費 L=423.6 m W= 16.0 m 橋梁工 L= 9.1 m 道路工 L=59.0 m 舗装工 A=6335 m <sup>2</sup> 事務費	59,130,000	国庫支出金	29,565,000
			市債	29,500,000
臨時交付金事業 計		59,130,000		59,065,000

## 〔地方特定道路整備事業〕

32,960,000 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・阿倉川西富田線 (大字羽津及び 別名六丁目地内)	工事費 臨時交付金事業 に合併 事務費	32,960,000	市債	32,900,000
地方特定道路整備事業 計		32,960,000		32,900,000

目的	生活道路の整備				
指標	路線毎の完了目標	目標	100%	実績	44.6%
説明	各地区別の不満に思う割合を減少させるよう鋭意取り組みました。平成15年度に第二名神高速道路関連事業として平津10号線が完成する予定です。 実績は小山田川島線を代表としました。				

〔高速道路関連事業〕 36,750,000 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・平津10号線 (平津町地内)	工事費 L=6.4 m W=5.0 m 函渠工・排水工 事務費	36,750,000	県支出金 市債	12,250,000 24,500,000
高速道路関連事業 計		36,750,000		36,750,000

〔道路局部改良事業〕 5,150,000 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・小林22号線 (小林町地内)	委託料 測量設計業務委託	5,150,000		
道路局部改良事業 計		5,150,000		

目的	市内渋滞ポイントの解消				
指標	路線毎の完了目標	目標	100%	実績	59.7%
説明	平成14年度より西富田3号線は地方特定道路整備事業の採択が可能となったため、よりいっそうの事業進捗が見込めることとなりました。 実績は六地藏中川原線を代表としました。				

〔渋滞対策事業〕 129,920,000 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・西富田3号線 (西富田町地内)	用地費 993.1 m <sup>2</sup> 補償費 物件移転補償 事務費	85,500,000	市債	129,900,000
・六地藏中川原線 (城北町地内)	用地費 196.8 m <sup>2</sup> 補償費 物件移転補償 事務費	41,720,000		
・生桑78号線 (生桑町地内)	用地費 92.9 m <sup>2</sup>	2,700,000		
渋滞対策事業 計		129,920,000		129,900,000

〔現年度事業費計〕 1,917,126,338 円

目的	幹線街路及び市内幹線道路の整備
----	-----------------

指標	市内幹線道路の整備率	目標	100%	実績	84.8%
説明	<p>快適な市民生活及び円滑な経済活動が行えるよう、市内幹線道路ネットワークを体系的に構築するため、現在実施中の小杉52号線、阿倉川西富田線等の早期整備に努めました。中でも小杉52号線は平成15年度に橋梁上部工を施工し、年度内に供用を開始できる予定です。</p> <p>実績は大鐘19号線を代表としました。</p>				

〔臨時交付金事業〕

377,020,000円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・ 小杉52号線 (小杉町地内)	工事費 L=68.0 m W=16.0 m 橋台工 N= 1基 護岸工 A=245 m <sup>2</sup> 道路工 L=58.2 m 原材料 歩道用高欄他 事務費	100,000,000	国庫支出金 市 債	202,361,000 174,600,000
・ 大鐘19号線 (伊坂町地内)	工事費 L=72.1 m W=10.75 m 上部工 P1 ~ A2 PC函桁橋 事務費 (一部平成14年度 明許繰越)	277,020,000		
臨時交付金事業 計		377,020,000		376,961,000

〔地方特定道路整備事業〕

356,082,000円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・ 阿倉川西富田線 (別名五丁目外 地内)	工事費 L=107.3 m W= 16.0 m 土工 1式 舗装工 1,379 m <sup>2</sup> 排水工 201.1 m 用地費 195.4 m <sup>2</sup> 補償費 物件移転補償 残地補償 事務費 (一部平成14年度 明許繰越)	57,000,000	市 債	320,300,000
・ 山村平津線 (平津町及び 山分町地内)	工事費 L=46.0 m 本線橋台工 1基 側道橋 L=2.6 m	20,060,000		



	下部工 2基 用水路工 L=30.7 m 取付道路工 L=43.5 m 事務費 (一部平成14年度 明許繰越)			
・ 部田川左岸 2号線 (東坂部町地内)	委託料 用地測量業務 委託 事務費	1,300,000		
・ 大矢知富田線 (大矢知町及び 下之宮町地内)	委託料 調査測量設計 業務委託	9,500,000		
・ 西富田3号線 (西富田町及び 富田栄町地内)	委託料 調査業務委託 用地費 2313.6 m <sup>2</sup> 補償費 物件移転補償 残地補償 (一部平成14年度 明許繰越)	268,222,000		
地方特定道路整備事業 計		356,082,000		320,300,000

目的	生活道路の整備				
指標	路線毎の完了目標	目標	100%	実績	44.6%
説明	<p>地域からの要望に少しでも答えることが道路行政の責務と認識し、私達は市民の満足度アンケートの中で道路が良くなっていると実感できるみちづくりに取り組んでいます。平成14年度は追分石原線、垂坂49号線、小山田川島線等の事業の進捗率の向上に努めました。追分石原線は完了、また垂坂49号線は平成15年度に完了します。</p> <p>実績は小山田川島線を代表としました。</p>				

〔高速道路関連事業〕

51,000,000円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・ 千代田22号線 外6線 (千代田町外地内)	委託料 調査測量設計 業務委託 工事費 L=871.1 m W=2.9~5.6 m 用地費 1364.6 m <sup>2</sup> 補償費 収用対償地の 取得に伴う補償 事務費	51,000,000	県支出金 市 債	17,000,000 34,000,000

高速道路関連事業 計	51,000,000		51,000,000
------------	------------	--	------------

〔道路新設改良単独事業〕

269,729,148 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・ 追分石原線 (塩浜町地内)	工事費 L=230.0 m W=11.0 ~ 15.7 m 土工 1 式 舗装工 A=1193 m <sup>2</sup> 排水工 L=313 m 付帯工 1 式	18,002,250	市 債	18,000,000
・ 小山田川島線 (川島町外地内)	委託料 調査測量登記 業務委託 工事費 L=109.4 m 側溝工 L=107 m 乗入れ工 2 箇所 用地費 1633.4 m <sup>2</sup> 補償費 物件移転補償 損失補償 (一部平成 14 年度 明許繰越)	56,884,970	市 債	56,800,000
・ 千代田大矢知線 (山分町地内)	委託料 調査設計業務 委託 工事費 L=94.4 m W=6.0 m 函渠工 94.6 m 集水柵工 13 箇所 側溝工 L=96 m 舗装工 A=840 m <sup>2</sup> 補償費 物件移転補償	23,726,081	市 債	23,700,000
・ 垂坂 4 9 号線 (垂坂町地内)	委託料 調査測量登記 設計業務委託 用地費 534.3 m <sup>2</sup> 補償費 物件移転補償 (一部平成 14 年度 明許繰越)	24,800,617	市 債	24,800,000
・ 水沢野田 1 号線 (水沢野田町 地内)	委託料 用地測量設計 業務委託 工事費 L=132.4 m	14,465,850	市 債	14,400,000

	W=5.45 m 排水工 L=268 m 舗装工 A=512 m <sup>2</sup> 集水柵工 2箇所 区画線工 L=305m			
・市内一円	委託料・工事費 原材料・用地費 補償費・事務費	131,849,380	市 債	131,800,000
道路新設改良単独事業 計		269,729,148		269,500,000

〔道路局部改良事業〕 100,000,000 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・平尾開拓1号線外 (市内一円)	委託料・工事費 原材料・用地費 補償費・事務費	100,000,000	市 債	100,000,000
道路局部改良事業 計		100,000,000		100,000,000

〔道路舗装新設事業〕 27,872,250 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・西坂部12号線外 (市内一円)	工事費 27件	27,872,250	市 債	27,800,000
道路舗装新設事業 計		27,872,250		27,800,000

〔生活密着道路整備事業〕 21,762,300 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・狭間1号線外 (市内一円)	工事費 4件 狭隘道路拡幅	21,762,300		
生活密着道路整備事業 計		21,762,300		

目的	市内渋滞ポイントの解消				
指標	路線毎の完了目標	目標	100%	実績	59.7%
説明	著しく増大する交通量に対し、交差点部の狭小区間の改良、バイパス道路の整備を行うことにより交通量の分散を図り、渋滞の解消に努めました。 実績は六地蔵中川原線を代表としました。				

目的	交通結節点整備				
指標	近鉄富田駅西広場 整備率	目標	100%	実績	9.7%
説明	道路ネットワークの整備を図るとともに、自動車や自転車からの乗換拠点となる主要な鉄道駅に自転車駐輪場、パーク＆ライド駐車場の整備を行い、交通容量の分散を図りました。この手法は渋滞緩和対策に有効であることから強く推進します。				

目的	交通需要マネジメント促進のための対策				
指標	道路情報の提供	目標	道路案内表	実績	5基整備

			の設置ほか	
説明	道路利用者が現在位置等の確認が容易にでき、ドライバーが安心して運転できる環境を整備するため、既設案内看板との整合をとり、道路網として統一のとれた体系的な道路案内標識の整備を行いました。 実績は歩行者案内板整備事業を代表としました。			

## 〔渋滞対策事業〕

148,689,000 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・ 赤堀新正1号線 (新正一丁目及び二丁目地内)	委託料 調査業務委託 用地費 86.9 m <sup>2</sup> 補償費 物件移転補償	24,879,947	市	債 24,800,000
・ 三岐富田駅西 広場整備事業 (富田四丁目外 地内)	委託料 調査業務委託 用地費 132.6 m <sup>2</sup> (一部平成14年度 明許繰越)	17,445,826	市	債 17,400,000
・ 西坂部高角線 (高角町地内)	工事費 L=347.3 m W=8.0 m 土工 1 式 舗装工 A=2220 m <sup>2</sup> 排水工 L=206 m 付帯工 1 式	19,703,250	市	債 19,700,000
・ 日永7号線 (日永一丁目外 地内)	委託料 調査測量設計 業務委託 工事費 L=21.1 m W=19.2 m 土工 1 式 舗装工 A=236 m <sup>2</sup> 上屋工 1 式 排水工 L=15.9 m (一部平成14年度 明許繰越)	11,185,366	市	債 11,100,000
六地藏中川原線 (鷓の森二丁目 及び城北町地内)	委託料 調査測量業務 委託 工事費 L=71.7 m W=4.5~9.0 m 側溝工 L=35.7 m 函渠工 L=24.6 m 集水柵工 3箇所 補償費 物件移転補償 (一部平成14年度 明許繰越)	21,835,830	市	債 21,800,000

・ 市内一円	委託料・使用料 工事費・用地費 補償費・事務費  (一部平成14年度 明許繰越)	53,638,781	市 債	22,400,000
渋滞対策事業 計		148,689,000		117,200,000

目的	安心して通れる歩行空間づくり				
指標	道路の路線延長	目標	370 mの整備 を行う側溝 整備他	実績	東海道の整備促進 (150 m)
説明	環境整備事業につきましては、東海道を主な路線とした側溝や舗装工事により、安心して歩くことのできる歩行空間づくりを図りました。 実績は環境整備事業を代表としました。				

〔歩道整備事業〕 13,991,250 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・ 西町線外 (市内一円)	委託料 調査業務委託 工事費 10件	13,991,250	市 債	13,900,000
歩道整備事業 計		13,991,250		13,900,000

〔道路環境整備事業〕 32,972,450 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・ 海蔵川諏訪線外 (市内一円)	工事費 9件	32,972,450	市 債	32,900,000
道路環境整備事業 計		32,972,450		32,900,000

目的	適切な維持管理				
指標	事業区間における 舗装の修繕率	目標	100%	実績	100%
説明	快適な通行と騒音振動を抑制するために、舗装及び側溝等の維持管理を行いました。				

〔石油交付金事業〕 111,172,950 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・ 三重橋垂坂線 (富士町外3町 地内)	工事費 L=500 m W=9.0 m 舗装工 A=4500 m <sup>2</sup> 区画線工 1式	31,319,400	県支出金	26,800,000
・ 赤堀小生線 (小生町地内)	工事費 L=710.0 m W=9.5 m	28,463,400	県支出金	20,900,000

	舗装工 A=7200 m <sup>2</sup> 区画線工 1 式			
・千歳町小生線 (新正三丁目 外 3 町地内)	工事費 L=480.0 m W=12.0 m 舗装工 A=5760 m <sup>2</sup> 区画線工 1 式	51,390,150	県支出金	42,300,000
石油交付金事業 計		111,172,950		90,000,000

〔道路再舗装工事〕 138,578,330 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔一般〕 ・大矢知富田 1 線 外 (市内一円)	工事費 82 件	87,577,580		
〔幹線〕 ・桜神前線外 (市内一円)	工事費 11 件	51,000,750		
道路再舗装工事 計		138,578,330		

〔道路舗装付帯工事〕 162,678,200 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・子西八王子線外 (市内一円)	工事費 187 件	162,678,200	市 債	162,600,000
道路舗装付帯工事 計		162,678,200		162,600,000

### その他経費

〔私道整備補助金〕 1,082,190 円  
 ・松寺二丁目地内 601,500 円  
 ・桜町地内 480,690 円

〔県営事業負担金〕 79,255,600 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔公共〕 ・四日市鈴鹿環状線	負担金	15,000,000	市 債	7,500,000
〔単独〕 ・国道 4 7 7 号線 外 1 3 線	負担金	64,255,600	市 債	32,000,000
県営事業負担金 計		79,255,600		39,500,000

## 〔公社健全化事業〕

25,240,670 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・新開橋整備事業 用地取得事業	用地費 特別会計繰出金	126,088		
・道路補修事業所 用地取得事業	負担金 408.47 m <sup>2</sup>	25,114,582	市 債	18,800,000
公社健全化事業 計		25,240,670		18,800,000

## 〔主要路線事業進捗率〕

路線名	事業年度	進捗率
大鐘 1 9 号線 (一期工事区間)	平成 9 年度～平成 1 5 年度	8 4 . 8 %
小杉 5 2 号線	平成 8 年度～平成 1 5 年度	7 0 . 8 %
阿倉川西富田線	平成 9 年度～平成 1 6 年度	8 5 . 5 %
山村平津線 (一期工事区間)	平成 8 年度～平成 1 6 年度	7 3 . 9 %

## 目 4 橋梁維持費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
20,700,000 円	20,699,700 円		300 円

目的	適切な維持管理				
指標	橋梁の修復率	目標	1 0 0 %	実績	1 0 0 %
説明	跨線橋のひび割れ落下防止の他、橋梁塗装工事等により橋梁施設の長期供用を図りました。				

## 〔橋梁維持修繕費〕

20,699,700 円

## 目 5 橋梁新設改良費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
203,320,000 円	142,000,000 円	61,320,000 円	0 円

## 〔明許繰越〕

58,320,000 円

目的	幹線街路及び市内幹線道路の整備				
指標	市内幹線道路の整備率	目標	1 0 0 %	実績	8 2 . 1 %
説明	災害応急対策の円滑な推進を図るため、海蔵川河川改修工事に合わせて代官橋の架替を実施するもので、事業主体である三重県に工事委託しました。 実績は代官橋のものです。				

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔地方特定道路〕 ・坂部が丘西坂部線 (西坂部町地内)	委託料 代官橋 (三重県委託) 事務費	58,320,000	市 債	58,300,000
明許繰越事業 計		58,320,000		58,300,000

〔現年度事業費計〕

83,680,000 円

目的	幹線街路及び市内幹線道路の整備				
指標	市内幹線道路の整備率	目標	100%	実績	82.1%
説明	災害応急対策の円滑な推進を図るため、海蔵川河川改修工事に合わせて代官橋の架替を実施するもので、事業主体である三重県に工事委託しました。なお、本橋梁の工事完了年度は、平成15年度を予定しています。 実績は代官橋のものです。				

〔地方特定道路整備事業〕

8,680,000 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・坂部が丘西坂部線 (西坂部町地内)	委託料 代官橋 (三重県委託) 事務費  (一部平成14年度 明許繰越)	8,680,000	市 債	7,900,000
地方特定道路整備事業 計		8,680,000		7,900,000

目的	災害時の緊急輸送道路・避難路の確保				
指標	橋梁毎の完了目標	目標	100%	実績	52%
説明	「兵庫県南部地震」の被災の教訓から、市街地や主要路線上の老朽橋及び耐荷力の不足している橋梁の耐震、老朽度の調査を進め、的確な工事を実施します。現在実施中の萱生跨線橋は三岐鉄道上にある重要な跨線橋と位置づけ整備促進に努めました。 実績は萱生跨線橋を代表としました。				

〔橋梁整備単独事業〕

75,000,000 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・萱生跨線橋 (中村町地内)	委託料 工事委託	71,300,000	市 債	30,200,000
・小角橋外 (萱生町外地内)	委託料 設計・耐震調査 耐震設計業務 事務費	3,700,000		
橋梁整備単独事業 計		75,000,000		30,200,000



### 項3 交通安全対策費

#### 目1 交通安全対策総務費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
170,975,000 円	167,650,934 円		3,324,066 円

〔一般職給〕 5人 50,854,159 円

〔嘱託職給〕 1人 3,319,401 円

目的	交通安全の啓発				
指標	研修会参加者数	目標	1,500人(H17)	実績	1,078人
説明	安全な交通社会を実現するために、階層別に研修会を実施するなど交通安全教育の推進及び知識の普及に努めました。				

〔交通安全啓発推進費〕 13,710,691 円

< 参 考 > 交通事故発生状況（県警本部交通統計による。歴年）

区 分	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年
発 生 件 数 ( 件 )	10,869	11,578	11,891	12,398	11,539	11,686	11,870	12,134	11,807
人 身 事 故	件 数 ( 件 )	1,783	1,930	1,917	1,902	1,871	2,043	2,187	2,232
	死 者 ( 人 )	29	32	27	25	22	27	26	18
	傷 者 ( 人 )	2,218	2,441	2,409	2,412	2,337	2,586	2,762	2,930
人口10万人以上の都市で人口 10万人当たりの死者数全国順位(位)	32	18	27	40	50	29	28	61	74

目的	放置自転車の撤去				
指標	放置自転車の撤去台数	目標	1,500台(H17)	実績	2,089台
説明	四日市市自転車等放置防止条例に基づき、放置自転車等の巡視、指導、撤去等を実施するとともに、自転車駐車場の確保及び関係機関等と協力して駐輪マナー等の啓発活動を実施しました。				

〔放置自転車対策事業費〕 37,022,595 円（その他特財 1,789,196 円）

目的	違法駐車防止				
指標	1回当たりの違法 駐車指導件数	目標	90件	実績	110件
説明	違法駐車を防止するため、重点地域の巡回、指導を実施し、警察署と連携を図り、指導強化を行いました。今後も関係機関と連携を図りながら、ドライバーのマナーアップ向上の啓発活動を強化していきます。				

〔違法駐車対策事業費〕 4,216,800 円

#### その他経費

〔四日市市交通安全協議会補助金〕 6,750,000円  
 〔交通安全施設等管理費〕 51,695,500円  
 〔交通災害共済事業特別会計繰出金〕 61,788円  
 〔負担金〕  
     三泗地区交通安全対策協議会 20,000円

## 目2 交通安全施設整備費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
434,460,000 円	355,340,000 円	79,120,000 円	0 円

### 〔明許繰越〕

102,960,000 円

目的	安心して通れる歩行空間づくり				
指標	路線毎の整備目標	目標	黒田平尾線の供用開始	実績	西新地久保田線の整備完了
説明	黒田平尾線は通学路として、西新地久保田線はバリアフリー歩道としてそれぞれの整備を行ない、自転車及び歩行者の安全な通行空間づくりを図りました。				

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔通常事業〕 ・黒田平尾線 (平尾町地内)	補償費 物件移転補償 事務費	21,020,000	国庫支出金 市 債	11,561,000 3,700,000
〔臨時交付金〕 ・西新地久保田線 (堀木一丁目 及び二丁目地内)	工事費 歩道整備工事 L=384.0 m W= 27.0 m 事務費	81,940,000	国庫支出金	40,970,000
明許繰越事業 計		102,960,000		56,231,000

### 〔現年度事業費計〕

252,380,000 円

目的	安心して通れる歩行空間づくり				
指標	路線毎の整備目標	目標	黒田平尾線の供用開始	実績	西新地久保田線の整備完了
説明	黒田平尾線は通学路として、西新地久保田線はバリアフリー歩道としてそれぞれの整備を行ない、自転車及び歩行者の安全な通行空間づくりを図りました。				

### 〔交通安全施設整備補助事業〕

131,960,000 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔通常事業〕 ・黒田平尾線 (平尾町及び 江村町地内)	工事費 自転車歩行車道 設置工事 L=559.0 m W=10.75 m 用地費 56.2 m <sup>2</sup> 補償費 物件移転補償 事務費  (一部平成14年度 明許繰越)	67,080,000	国庫支出金 市 債	36,894,000 12,100,000

〔臨時交付金〕 ・西新地久保田線 (西浦一丁目外 地内)	工事費 歩道整備工事 L=1192.0 m W= 27.0 m 事務費  〔一部平成14年度 明許繰越〕	64,880,000	国庫支出金	32,440,000
交通安全施設整備補助事業 計		131,960,000		81,434,000

目的	適切な維持管理				
指標	発見当日の道路損 傷の復旧率	目標	100%	実績	100%
説明	交通事故防止のために地域関係者、交通管理者、道路管理者相互の連携により交通安全施設の整備に努めました。				

〔交通安全施設整備単独事業〕

120,420,000 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
大治田1号線 (大治田三丁目 地内)	工事費 歩道設置工事 L= 74.0 m W= 8.2 m	6,388,200		
・西阿倉川万古線 (大字西阿倉川 地内)	工事費 自歩道設置工事 L=114.9 m W= 18.0 m 事務費  〔一部平成14年度 明許繰越〕	5,380,000		
・市内一円	委託料 測量設計業務 委託 工事費 歩道設置外 L=280 m 防護柵 L=16,667 m 道路照明 N=2 基 道路反射鏡 N=247 面 区画線 L=31,045 m その他	108,651,800		
交通安全施設整備単独事業 計		120,420,000		

## 〔主要路線事業進捗率〕

路線名	事業年度	進捗率
黒田平尾線(自転車歩行者道設置)	平成6年度～平成15年度	90.0%
西新地久保田線(歩道整備)	平成11年度～平成15年度	90.0%

## 項4 河川費

## 目1 河川総務費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
127,886,000円	125,361,163円		2,524,837円

〔一般職給〕 4人 44,145,000円

目的	河川・排水路の適正な維持				
指標	河川排水路延長	目標	333,380m	実績	333,380m
説明	準用河川・排水路の維持、団地等調整池の維持管理を行いました。				

〔河川等維持修繕費〕 49,664,835円

市管理河川

	河川数	管理総延長(m)
市管理河川	91	117,580m
うち準用河川	23	50,890m

〔河川台帳整備事業費〕 20,214,600円

〔樋門管理費〕 2,155,650円 (国庫支出金 722,588円)  
(県支出金 685,510円)

〔調整池管理費〕 7,497,000円

## その他経費

〔負担金〕 850,000円

・三重県河川海岸協会等負担金

〔一般経費〕 834,078円

## 目2 河川改良費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
463,172,700円	382,716,379円	77,614,400円	2,841,921円

〔明許繰越〕 57,692,700円

目的	治水事業の推進				
指標	河川整備率	目標	25.5%	実績	25.2%

説明	準用河川・排水路の整備について、地元および三重県と十分調整をとりながら整備をしました。
----	---

事業区分 (施行個所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔準用河川改修事業〕 ・萱生川 (中村町地内)	用地費 一式 事務費	6,720,000	国庫支出金 既収入特財	2,240,000 3,360,000
・横川 (川島町地内)	工事費 護岸工一式 事務費	30,000,000	市 債 (特定資金) 市 債	10,000,000 20,000,000
準用河川 計		36,720,000		35,600,000
〔土砂災害情報相互通報システム整備事業〕	委託料 土砂災害情報相互通報システム事業設備設置 事務費	4,000,000	県支出金	4,000,000
土砂災害情報システム整備事業 計		4,000,000		4,000,000
〔総合治水対策事業〕 ・西阿倉川	工事費 L型擁壁工 自由勾配側溝 側溝工・舗装工	11,972,700	市 債	11,900,000
総合治水対策事業 計		11,972,700		11,900,000
〔河川改良事業〕 ・南川原川	用地費 一式	5,000,000		
河川改良事業 計		5,000,000		
明許繰越計		57,692,700		51,500,000

〔現年度事業費計〕

325,023,679 円

目的	治水事業の推進				
指標	河川整備率	目標	25.5%	実績	25.2%
説明	治水事業は、市民の生命・財産を守るうえからも最優先に実施しなければならない事業であり、本年度も準用河川改修事業、排水路改良事業等を実施しました。				

〔河川改良補助事業費〕

49,950,000 円

事業区分 (施行個所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔準用河川改修事業〕 ・米洗川中流 (八田二丁目外)	委託料 河川測量設計業務一式 事務費	8,940,000	国庫支出金 市 債	2,980,000 4,500,000
・朝明新川 (中村町地内)	工事費 護岸工 一式 委託料 設計業務 一式 事務費 (一部14年度明許繰越)	24,429,000	国庫支出金 市 債	8,143,000 10,200,000

・横川 (川島町)	工事費 護岸工一式 事務費 (一部14年度明許繰越)	16,581,000	国庫支出金 市 債	5,527,000 3,800,000
準用河川改修事業計		49,950,000		35,150,000
補助事業 計		49,950,000		35,150,000

〔都市基盤河川改修事業費〕

18,000,000 円

事業区分 (施行個所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・足見川 (西山町地内)	工事費 護岸工 L = 68.1 m 事務費	18,000,000	国庫支出金 市 債 その他特財	6,000,000 5,400,000 6,000,000
都市基盤河川改修事業 計		18,000,000		17,400,000

〔半谷川河川改修事業費〕

7,935,600 円

事業区分 (施行個所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・半谷川	委託料 測量業務 測量登記 用地費 (一部14年度明許繰越) 事務費	7,935,600	その他特財	7,656,600
半谷川河川改修事業費 計		7,935,600		7,656,600

〔排水対策事業費〕

3,097,500 円

事業区分 (施行個所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・十四川	委託料 測量調査業務	3,097,500		
排水対策事業費 計		3,097,500		

〔土砂災害情報システム整備事業費〕

21,294,000 円

事業区分 (施行個所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔土砂災害情報相互 システム整備事業〕	委託料 土木災害情報相互通報 システム整備委託一式 事務費	21,294,000	県支出金	21,294,000
土砂災害情報システム整備事業 計		21,294,000		21,294,000

〔高速道路関連事業費〕

25,500,000 円

事業区分 (施行個所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔高速道路関連事業〕 ・千代田町排水路改良 (千代田町地内)	工事費 ボックスカルバート工 集水桝 事務費	25,500,000	県支出金	8,500,000
高速道路関連事業 計		25,500,000		8,500,000

〔地方特定河川等環境整備事業費〕 27,000,000 円

事業区分 (施行個所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・三滝川ふるさとの川 整備 (堀木二丁目地内外)	工事費 張芝工 A=11810 m <sup>2</sup> 事務費	27,000,000	市 債	24,300,000
地方特定事業 計		27,000,000		24,300,000

〔河川市単独事業費〕 143,061,073 円

事業区分 (施行個所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・河川改良事業 市内一円	委託費 工事費 (一部平成14年度明許繰越)	64,373,741		
・排水路改良事業 市内一円	委託費 工事費 補償費	70,579,313		
	市単独事務費	8,108,019		
河川市単独事業 計		143,061,073		

### その他経費

〔県営事業負担金〕 29,185,506 円

事業区分 (施行個所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
環境整備 三滝川	負担金	8,835,506		
〔補助〕 急傾斜地 西日野地区 川島3地区	負担金	16,950,000	市 債	15,200,000
〔単独〕 急傾斜地 東日野地区・東坂部地区	負担金	3,400,000		
県営事業負担金 計		29,185,506		15,200,000

## 項5 港湾費

### 目1 港湾総務費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,497,569,000 円	1,497,005,500 円		563,500 円

目的	四日市港管理組合と連携を図る。				
指標	港の経済効果	目標	7,117 億円 (平成22年度)	実績	関連純生産額 5,584 億円 (平成12年度)

説明	四日市港では、中枢国際港湾として一層の機能向上を図るため、霞ヶ浦地区について国際海上コンテナターミナル - 14 m岸壁及び泊地の整備などの外貿機能の充実強化を進めるとともに、内貿岸壁の整備などを行いました。また、運河地区水門の改良や護岸の補強などの安全対策や富双地区について緑地・親水空間の整備を行いました。
----	---

〔一般職給〕 2人	23,339,000円
〔港湾事務費〕	322,030円
〔四日市港管理組合負担金〕(特別負担金 19,511,470円含む)	1,472,396,470円
〔三重県港湾協会負担金〕	800,000円
〔港湾都市協議会等負担金〕	148,000円

## 項6 都市計画費

### 目1 都市計画総務費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
380,552,000円	349,681,735円	16,800,000円	14,070,265円

〔一般職給〕 27人	247,572,000円(県支出金 591,000円)
	(その他特財 5,631,462円)

#### (都市計画課)

目的	都市計画の立案・見直し				
指標	計画策定への住民参加数	目標	1000人	実績	900人
説明	平成14年7月に都市計画マスタープラン「全体構想」を策定し、23地区で説明会を行い、ほぼ目標どおり900名の市民参加を得るなど市民と市の協働によるまちづくりを進める基礎を築きました。 また、平成15年2月には、都市計画マスタープラン等の緑に関する方針に基づき、具体的な緑の将来像と目標を設定し、その実現に向けた施策を定める「緑の基本計画」を1市4町で策定しました。				

〔都市計画基礎調査費〕	1,995,000円
〔都市計画マスタープラン事業費〕	6,119,820円

目的	都市計画の運用				
指標	適法・適正な処理	目標	全件適法・適正な処理	実績	175件
説明	都市計画法に基づく許可・届出事務については、全件適法・適正に処理しました。				

目的	まちづくり活動への支援				
指標	まちづくり活動登録団体数	目標	5団体(H17までに)	実績	1団体
説明	「市民まちづくり講座」については、「花あふれるまちづくり」をテーマとした市民企画による講座を開催し、受講者主体による「ハンギングバスケットコンテスト」の開催へと展開しました。また、11月には「秋のてくてくウォッチング」を開催しました。				

〔都市景観形成推進事業費〕	645,058円
〔市民まちづくり講座事業費〕	329,401円

目的	施設管理				
指標	適正管理	目標	全施設適	実績	苦情件数 10件



	正管理	(平成 13 年度 20 件)
説明	駐車場案内システム・市営駐車場等の維持管理については、目標どおり管理を行いました。また、ふれあいモールの巡視強化により目標どおり快適な歩行空間を確保しました。	
〔ふれあいモール維持管理費〕	6,223,718 円	(その他特財 3,131,268 円)
〔駐車場案内システム維持管理費〕	17,483,509 円	
〔交通量常時観測調査費〕	139,666 円	(国庫支出金 139,666 円)
〔近鉄高架下土地管理費〕	52,444,811 円	(その他特財 21,500,036 円)

### その他経費

〔委員報酬〕	
・都市計画審議会委員	290,500 円
・都市景観審議会委員	174,700 円
〔負担金〕	
・都市計画協会負担金	240,000 円
・三重県都市計画協会等負担金	630,000 円
〔その他都市計画一般経費〕	7,830,701 円
〔土木積算システム業務費〕	1,590,750 円
〔都市計画情報提供事業費〕	885,150 円

### (開発指導課)

目的	都市計画法に基づく適法な許可処分				
指標	適法処分	目標	適正処理	実績	許可申請件数
説明	都市計画法に基づく開発許可申請及び建築許可申請等に対する審査、指導、調整、協議を行いました。				

開発許可申請件数	都市計画法第 29 条に基づく申請	101 件
建築許可申請件数	都市計画法第 42 条に基づく申請	7 件
	都市計画法第 43 条第 1 号に基づく申請	43 件

目的	適正な知事への進達事務				
指標	適正処理	目標	適正処理	実績	進達件数
説明	国土利用計画法及び公有地拡大の推進に関する法律に基づく土地取引に関する届出の受理、三重県知事への進達を行いました。				

進達件数	国土利用計画法に基づく届出受理	14 件
	公有地拡大の進達に関する法律の基づく届出受理	22 件

〔開発審査会委員報酬〕	130,000 円	(その他特財 130,000 円)
〔開発指導事務費〕	3,110,318 円	(県支出金 591,000 円) (その他特財 2,519,318 円)
〔全国開発指導行政等推進・連絡協議会等負担金〕	141,500 円	

### (都市整備課)

〔中心市街地活性化事業費〕	118,980 円
〔都市計画総務一般経費〕	1,586,153 円

## 目2 土地区画整理費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,223,032,000 円	1,223,032,000 円		0 円

一般会計から土地区画整理事業特別会計に繰り出しました。(都市計画税充当額 197,439,000 円)

## 目3 街路事業費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,260,429,000 円	2,257,904,420 円		2,524,580 円

〔明許繰越〕

381,000,000 円

目的	幹線街路及び市内幹線道路の整備				
指標	街路進捗率	目標	100%	実績	86.5%
説明	快適な市民生活並びに円滑な経済活動が行なえるよう、市内の道路ネットワークを体系的に構築するため、幹線街路の整備に努めました。 実績は堀木日永線を代表としました。				

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔特定資金公共投資事業〕 ・赤堀山城線 (本郷町他地内)	工事費 主桁製作工 N = 30 本 架設工 N = 6 本 橋梁工 張出式橋脚 2 基 道路工 地盤改良工 A = 2,530 m <sup>2</sup> 盛土工 V = 4,800 立方m 排水施設工 L = 104.35 m 事務費	160,000,000	市債 (特定資金)	80,000,000
・赤堀山城線 (堀木橋) (西浦二丁目 他地内)	工事費 橋梁工 主桁製作工 PCプレキャスト桁 32 本 PCプレキャスト桁 12 本 主桁運搬工 N = 36 台 既設橋脚補強・ 張出工 2 基 既設橋台張出工 2 基 道路工 ブロック積工	160,000,000	市債 (特定資金) 市債	80,000,000 80,000,000

	A = 50 m <sup>2</sup>			
	事務費			
	特定資金公共投資事業 計	320,000,000		320,000,000
〔街路単独事業〕 ・三畑四日市線 (采女町地内)	工事費 橋梁工 橋長 L = 11 m 幅員 W = 16 m 下部橋台工 2 基 上部工 1 橋 道路改良工事 L = 234 m W = 9.5 ~ 16 m 排水工 補償費 物件移転補償 事務費	61,000,000	その他特財	61,000,000
明 許 繰 越 計		381,000,000		381,000,000

〔現年度事業費計〕

1,876,904,420 円

目的	幹線街路及び市内幹線道路の整備				
指標	街路進捗率	目標	100%	実績	86.5%
説明	快適な市民生活並びに円滑な経済活動が行なえるよう、市内の道路ネットワークを体系的に構築するため、幹線街路の整備に努めました。 実績は堀木日永線を代表としました。				

〔街路補助事業費〕

1,093,000,000 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔通常事業〕 ・堀木日永線 (日永西一丁目 他地内)	工事費 道路改築工 L = 540 m W = 16 m 街路工 1 式 橋梁工 下部工、上部工 1 式 補償費 物件移転補償 事務費	376,000,000	国庫支出金 188,000,000 市 債 125,900,000 都市計画税 54,855,000	
・赤堀山城線 (本郷町他地内)	工事費 主桁製作工 N = 30 本 架設工 N = 6 本 用地費 A = 144.99 m <sup>2</sup> 事務費	20,000,000	国庫支出金 10,000,000 市 債 5,500,000 都市計画税 3,975,000	

・赤堀山城線 (堀木橋) (西浦二丁目他地内)	工事費 主桁製作工 PCプレテン和-桁 32本 PCプレテン桁 12本 主桁運搬工 N = 36台 橋梁工 側径間工 2径間 中央径間工 2径間 橋脚補強工 3基 落橋防止工 28組 事務費	20,000,000	国庫支出金 市 債 都市計画税	10,000,000 5,500,000 3,975,000
・千歳町小生線 (城東町地内)	委託料 建物調査業務 12件 測量設計業務 L=0.75km A=5.9ha 補償費 物件移転補償 1件 事務費	40,000,000	国庫支出金 市 債 都市計画税	20,000,000 11,000,000 7,950,000
通常事業 計		456,000,000		446,655,000
[臨時交付金] ・堀木日永線 (日永西一丁目 他地内)	委託料 建物調査業務 工事費 道路改築工 L = 540m W = 16m 街路工 1式 橋梁工 下部工、上部工 1式 取付階段築造工 1式 用地費 A = 408.9 m <sup>2</sup> 補償費 物件移転補償 事務費	405,600,000	国庫支出金 市 債	202,800,000 202,800,000
・赤堀山城線 (本郷町他地内)	工事費 主桁製作工 N=30本 (現場製作) 架設工 N = 6本 橋梁工 張出式橋脚 2基 道路工 地盤改良工 A = 2,530 m <sup>2</sup> 盛土工 V = 4,800 立方m 排水施設工 L = 104.35 m 事務費	50,800,000	国庫支出金 市 債	25,400,000 25,400,000

・赤堀山城線 (堀木橋) (西浦二丁目他地内)	工事費	120,600,000	国庫支出金	60,300,000
	橋梁工 側径間工 2 径間 中央径間工 2 径間 橋脚補強工 3 基 落橋防止工 28 組 既設橋脚補強・ 張出工 2 基 既設橋台張出工 2 基 道路工 ブロック積工 A = 50 m <sup>2</sup> 事務費		市 債	60,300,000
・千歳町小生線 (城東町地内)	委託料	60,000,000	国庫支出金	30,000,000
	埋蔵文化財試掘調査 1ヶ所 用地費 A = 0.42 m <sup>2</sup> 補償費 物件移転補償 5 件 事務費		市 債	30,000,000
臨時交付金事業 計		637,000,000		637,000,000
街路補助事業 計		1,093,000,000		1,083,655,000

## 〔地方特定道路整備事業費〕

350,000,000 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔地方特定道路〕 ・阿倉川西富田線 〔阿倉川工区〕 (大字西阿倉川地内)	委託料 建物調査業務 用地測量業務 設計業務委託 工事費 U型 500 側溝布設 U型 250 側溝布設 集水枘設置 仮排水管布設 取付道路舗装工 用地費 A = 2,008 m <sup>2</sup> 補償費 物件移転補償 事務費	350,000,000	市 債	315,000,000
地方特定道路整備事業 計		350,000,000		315,000,000

## 〔街路単独事業費〕

105,991,676 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源
----------------	------	-----	--------

〔街路単独事業〕 ・千歳町小生線 ・堀木日永線 ・赤堀山城線 ・阿倉川西富田線 ・環状1号線 ・三畑四日市線	委託料 設計業務委託 施工管理業務 調査測量業務 工事費 環境整備工事 除草工 A=22,572 m <sup>2</sup> 用地費 A = 46.99 m <sup>2</sup> 補償費 物件移転補償 事務費	105,991,676	市 債	53,400,000
街路単独事業 計		105,991,676		53,400,000

### その他経費

#### 〔県営事業負担金〕

323,666,665 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔公共〕 ・富田山城線 外1線	負担金	319,999,999	市 債	160,100,000
〔単独〕 ・富田山城線 外1線	負担金	3,666,666	市 債	3,200,000
県営事業負担金 計		323,666,665		163,300,000

#### 〔公社健全化事業費〕

4,246,079 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・堀木日永線	用地費 特別会計繰出金	1,630,936		
・阿倉川西富田線	用地費 特別会計繰出金	63,417		
・赤堀山城線	用地費 特別会計繰出金	296,941		
・環状1号線	用地費 特別会計繰出金	853,518		
・近鉄塩浜駅前	用地費	1,401,267	市 債	1,000,000
公社健全化事業 計		4,246,079		1,000,000

#### (主要路線進捗率)

路線名	事業年度	進捗率
堀木日永線	平成 8年度～平成16年度	86.5%

赤堀山城線	平成 9 年度～平成 15 年度	83.6%
赤堀山城線(堀木橋)	平成 13 年度～平成 15 年度	56.2%
千歳町小生線	平成 14 年度～平成 20 年度	2.7%
阿倉川西富田線	平成 8 年度～平成 17 年度	76.3%

#### 目 4 公園管理費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
593,646,000 円	567,095,046 円	18,000,000 円	8,550,954 円

〔一般職給〕 13人 116,204,000 円  
 〔嘱託職給〕 1人 2,597,136 円

目的	公園愛護会の育成				
指標	公園愛護会設置率	目標	71%	実績	72.5%
説明	公園ボランティア団体の活動支援のため清掃用具等の支給を行い、維持管理のための効果的な予算の執行に努めました。				

〔公園愛護会育成費〕 1,532,160 円

目的	花ボランティアの拡大				
指標	参加人員	目標	25人	実績	23人
	生産量		15,000株		16,000株
	花を飾る公共施設		7公園		4公園3街路
説明	中央緑地の苗圃において花苗を育成し、公園や街路を四季の花で飾り、より変化のある景観づくりに努めました。				

〔花と緑いっぱい事業費〕 1,810,662 円(その他特財 1,810,662 円)

目的	花と緑いっぱい事業の補助金交付				
指標	参加ボランティア団体数	目標	25団体	実績	28団体
	緑化された公共施設面積		500㎡		3,300㎡
	補助金の交付額		5,000千円		6,378,760円
説明	新規事業として緑化基金を元にスタートしましたが、市民参加活動事業として多くの団体参加があり基金の有効活用に努めました。				

〔花と緑いっぱい事業費〕 6,613,400 円(その他特財 6,378,760 円)

目的	民有地緑化苗木交付				
指標	交付本数	目標	700本	実績	359本
説明	民有地の垣根等の新設の場合に苗木を交付し景観向上に努めました。				

〔花と緑いっぱい事業費〕 162,655 円(その他特財 162,655 円)

目的	公園及び街路樹の適正な維持管理				
指標	施設のハザード除去	目標	400件	実績	420件
説明	安全で快適な公園の維持管理及び街路樹の健全な育成と景観向上に努めました。				

〔公園施設管理費〕 401,994,398 円(一部 14 年度明許繰越)

〔公園施設備品整備費〕 2,713,035 円

〔公園施設安全対策費〕 452,880 円  
 〔公園施設維持補修費〕 22,680,549 円

目的	緑化啓発				
指標	緑化祭の来場者数	目標	2500 人	実績	2,300 人
	緑の緑化募金額		550,000 円		435,302 円
	ホームページ開設		16 年度開設		14 年度開設
説明	緑化啓発事業を通じて、市民の緑への関心を高めることができました。				

〔1 日動物園開催費〕 1,364,190 円  
 〔公園管理一般経費〕 299,250 円

目的	緑化基金の積立				
指標	寄付金額（民間、企業）	目標	2,500,000 円	実績	2,246,476 円
	基金積立啓発ポスター応募件数		600 作品		568 作品
説明	基金の取り崩しを行い花と緑いっぱい事業の補助金の交付・苗木の交付などの財源にあてました。				

〔緑化基金積立金〕 4,512,125 円（その他特財 2,512,125 円）  
 〔花と緑いっぱい事業〕 712,954 円

### その他経費

〔公園緑地協会負担金〕 223,000 円  
 〔公園管理一般経費〕 3,222,652 円

種別	開設箇所	開設面積	備考
公園緑地	335	267.8ha	うち街区公園 272箇所
街路樹	46路線	約10,000本	四日市中央線 金場新正線 四日市西町線 外

## 目5 公園建設費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
816,324,000 円	813,004,043 円		3,319,957 円

〔明許繰越〕 113,999,800 円

目的	公園及び緑地事業の推進				
指標	供用開始面積の早期増大	目標	9.2 m <sup>2</sup> /人	実績	9.02 m <sup>2</sup> /人
	南部丘陵公園事業エリアの早期供用開始を目指し、補助事業及び一体整備を推進するとともに、既設公園のバリアフリー化を図るためトイレ改修、園路改修、入り口改良に努めました。				

〔公園緑地整備補助事業費〕 32,000,000 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源



南部丘陵公園整備事業 (西日野町外地内)	工事費・公園整備工(広場工)・南ゾーン植栽工事 事務費	32,000,000	市債 (特定資金) 市債	16,000,000 16,000,000
公園緑地整備補助事業計		32,000,000		32,000,000

〔都市公園等一体整備促進事業費〕 32,187,800 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
南部丘陵公園整備事業 (西日野町外地内)	工事費・整備工 ・修景施設設置工 ・園路舗装工 ・排水施設設置工	32,187,800	市債 既収入特財	8,000,000 24,000,000
都市公園等一体整備促進事業計		32,187,800		32,000,000

〔公園緑地整備単独事業費〕 49,812,000 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
中央緑地便所改修工事	工事費・既設便所改修 ・多目的便所設置	15,015,000	市債	37,700,000
園路バリアフリー化	工事費・桜台中央公園外4公園園路改修	15,844,500		
市内一円公園入口 バリアフリー化	工事費・入口改良 手摺設置 車止改良	18,952,500		
公園緑地整備単独事業計		49,812,000		37,700,000

〔現年度事業費計〕 699,004,243 円

目的	公園及び緑地事業の推進				
指標	共用開始面積の早期増大	目標	9.2 m <sup>2</sup> /人	実績	9.02 m <sup>2</sup> /人
説明	南部丘陵公園南ゾーンにおける基盤整備を推進し、早期の供用開始を図ると共に、北ゾーン入口のリニューアルを行い利用者の利便性向上に努めました。				

〔公園緑地整備補助事業費〕 54,000,000 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
南部丘陵公園整備事業 (西日野町外地内)	工事費 ・管理休養設置工 ・照明灯設置工 ・南ゾーン植栽工 事務費	54,000,000	国庫支出金 市債	27,000,000 20,200,000
公園緑地整備補助事業計		54,000,000		47,200,000

〔都市公園等一体整備促進事業費〕 36,186,150 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	

南部丘陵公園整備事業 (西日野町外地内)	工事費・南ゾーン設置工 ・北ゾーン整備工 ・北ゾーンゲート設置工	36,186,150	市 債	27,000,000
都市公園等一体整備促進事業計		36,186,150		27,000,000

〔公園緑地整備単独事業費〕

339,985,601 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
笹川8号公園整備工事	工事費・擁壁工 L=5.6m	1,102,500	都市計画税	91,160,000
四ツ谷公園整備工事	工事費・スプリットブロック・低木植樹 1300本	3,609,900		
川尻公園整備事業	工事費・合成木材張替 ・ゴムマット撤去工	2,441,250		
市内一円の公園緑地	工事費 委託費・調査設計	30,344,960		
大気汚染対策緑地償還金	羽津山緑地事業費償還金	276,557,100		
北勢中央公園建設負担金	県公共事業費負担金 県単独事業費負担金	22,080,000	市 債	9,000,000
上水道受益者負担金		315,000		
市単独事務費		3,534,891		
公園緑地整備単独事業費 計		339,985,601		101,160,000

〔公社健全化事業費〕

- ・富田中公園用地取得事業費(特別会計繰出金) 3,606,973 円
- ・垂坂公園用地取得事業費 231,377,684 円 (市債 163,200,000 円)
- ・南部丘陵公園用地取得事業費(特別会計繰出金) 13,095,595 円

目的	街路樹のリニューアル				
指標	管理コストの低減	目標	1%減	実績	6100円/本
説明	既設街路樹の健全育成や道路の快適性、安全性を確保するための管理費用の低減を図ると共に景観向上を目指し樹種の転換や配置の見直しを行いました。				

〔緑帯沿道整備事業費〕

20,752,240 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
緑帯沿道整備事業	花壇植栽委託 6箇所 花壇整備工 午起未永線 街路樹樹種転換 街路樹管理	20,752,240		
緑帯沿道整備事業費 計		20,752,240		

項7 下水道費

目1 下水道整備費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
------	------	--------	-----

8,622,371,000 円	8,622,371,000 円		0 円
-----------------	-----------------	--	-----

一般会計から公営企業下水道事業会計に支出しました。（都市計画税充当額 1,949,982,000 円）

〔負担金〕

・下水道雨水処理費 5,316,465,000 円

〔補助金〕

3,305,906,000 円

・下水道汚水処理費基準内 939,052,000 円

・下水道汚水処理費基準外 2,366,854,000 円

項 8 住宅費

目 1 住宅管理費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
767,171,000 円	695,927,071 円	46,491,000 円	24,752,929 円

〔一般職給〕 12人 97,830,261 円 （その他特財 97,830,261 円）

目的	管理者による修繕費用負担				
指標	適正な修繕費用	目標	250,000 千円/年	実績	218,906 千円
説明	公営住宅として、その目的に沿って適正かつ合理的な維持管理に努め、維持修繕については、費用負担区分上、事業主体の管理責任に属するものは、迅速に対処することにより入居者の便宜に供しました。				

〔市営住宅維持補修費〕

150,549,517 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・一般修繕 (三重団地外 1305 件)	需用費・役務費・委託料	64,663,044	国庫支出金	32,123,000
			その他特財	116,084,017
・空家修繕 (三重団地外 121 件)	需用費	76,104,023		
・公営住宅ストック総合活用計画策定	委託料 事務費	4,342,500		
・市内一円	委託料(保守点検)・原材料費	5,439,950		
維持補修費 計		150,549,517		148,207,017

〔市営住宅整備事業費〕

52,564,750 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・サッシ改良工事 (あさけが丘団地)	工事請負費	6,247,500	その他特財	6,247,500
・電気容量改良工事 (登城山団地外)	工事請負費 事務費	19,974,500	国庫支出金	4,210,000
			その他特財	11,550,000
・屋上防水工事 (三重団地)	工事請負費	5,418,000	その他特財	5,418,000

・耐震補強設計業務 (茂福団地)	委託料	1,932,000	その他特財	1,932,000
・市営住宅除却工事 (石塚町団地)	工事請負費	1,984,500	その他特財	1,984,500
・CTY導入負担金 (前田町団地外)	負担金	9,765,000	その他特財	9,765,000
・市内一円	工事請負費 事務費	7,243,250	国庫支出金 その他特財	362,000 6,298,250
整備事業費 計		52,564,750		47,767,250

目的	市営住宅のバリアフリー化				
指標	高齢者・障害者対応 住宅供給戸数	目標	267戸(H18)	実績	127戸
説明	高齢者対応住宅を4戸、車椅子対応住宅を1戸提供しました。また、単身高齢者の募集枠を13戸確保しました。				

〔既設公営住宅改善事業費〕 16,046,000円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・市営住宅改善工事 (あさけが丘団地外)	工事請負費 事務費 高齢者向4戸 障害者向1戸	16,046,000	国庫支出金	3,953,000
既設公営住宅改善事業費 計		16,046,000		3,953,000

〔市営住宅整備基金積立金〕 5,101円 (その他特財 5,101円)  
(平成9年12月設置 本年度末現在高 107,343,538円)

目的	良好な住宅ストックの形成				
指標	住宅取得支援融資 累計貸付件数	目標	95件	実績	68件
説明	制度発足後、年間30件程度の貸付けを行ってきましたが、不況による住宅取得の減少や金融機関の戦略的な低金利住宅融資により、本年度の新規貸付は3件15,000千円にとどまりました。				

〔住宅整備資金融資貸付金〕 320,779,000円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔勤労者住宅支援資金〕	新規貸付件数 3件	276,292,000	その他特財	320,779,000
〔勤労者持家促進資金〕	協調期間中(平成17年度まで)	34,258,000		
〔勤労者住宅取得資金〕	協調期間中(平成17年度まで)	10,229,000		
住宅整備資金融資貸付金 計		320,779,000		320,779,000

目的	良好な住宅ストックの形成				
指標	特定優良賃貸住宅供 給累積戸数	目標	200戸(H15)	実績	160戸

説明	特定優良賃貸住宅は、市内に不足しているゆとりを持って子育てができるファミリー向け賃貸住宅で、総供給戸数が160戸となり、持家に比べ狭小な賃貸住宅市場への波及効果及び中堅所得者層の住環境向上等により、市内への定住促進に貢献しました。本年度は、平成13年度認定した1団地16戸が供給される予定でしたが、事前調整等に時間を要したため着工が遅れ、平成15年度に繰り越しました。
----	--

〔特定優良賃貸住宅供給促進事業費〕

26,001,000円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
〔建設費補助〕 ・センチュリー山城	事務費 補助金と事務費の一部を繰越	2,244,000	国庫支出金	1,122,000
〔家賃対策補助〕 ・ルステージ西浦外5団地	対象戸数 79戸 補助金 事務費	10,435,000	国庫支出金 県支出金	5,104,000 2,476,000
〔建設費利子補給〕 ・ルステージ西浦外3団地	補助金	13,322,000	県支出金	6,660,000
特定優良賃貸住宅供給促進事業費 計		26,001,000		15,362,000

目的	市営住宅使用料の滞納整理				
指標	現年度収納率	目標	89.90%(H16)	実績	87.06%
説明	家賃滞納問題については、入居者が低額所得者であるという実情を考慮し、個々の状況を勘案しながら納付指導を行うとともに、その徴収に当たっては督促・呼び出し・訪宅等の方法をもって厳しく対処し、誠意のみられない者については明渡し請求等の法的措置の執行(3件)及び訴訟(5件)を行いました。 市営住宅家賃の収納率は現年度分87.06%、過年度分は10.13%でした。				

目的	市営住宅の適正な入居管理				
指標	現地調査・指導件数	目標	随時	実績	随時
説明	入居者の公募は、住宅困窮者へ公平かつ効率的に提供することを基本に、三重団地等を対象として年3回の定期募集により70戸(応募倍率5.96倍)、緊急度の高い希望者に対しては、高花平団地等での随時募集により62戸の入居措置を実施しました。 適正な入居を維持するため、現地調査・指導を必要に応じて行いました。 毎年入居者の収入状況を把握するとともに、応能応益家賃の設定・徴収等を実施して入居管理の適正化に努めました。 全高額所得者に対し退去指導を行い、2件が退去いたしました。				

〔委員報酬〕	6人	149,400円	(その他特財)	149,400円)
・市営住宅入居者選考委員会委員				
〔管理人報償金〕		3,889,620円	(その他特財)	3,889,620円)
〔負担金〕	日本住宅協会	37,500円	(その他特財)	37,500円)

目的	住まい手への支援				
指標	住情報提供等支援 件数	目標	随時・住まい情報冊 子の発刊(H15)	実績	講演会開催
説明	マンション管理に関する講演会を開催いたしました。 住まい情報冊子については、掲載情報の収集にとどまりました。				

〔住情報提供推進事業費〕

269,415円

(その他特財 269,415円)

**その他経費**

〔住宅新築資金等貸付事業特別会計繰出金〕  
〔一般経費〕

19,218,000 円  
8,587,507 円 (その他特財 8,587,507 円)

## 目 2 住宅建設費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,903,000 円	12,603,279 円		299,721 円

目的	良質な住宅ストックの形成				
指標	PFI 的手法による市 営住宅の建設	目標	120 戸 (H 18)	実績	0 戸
説明	<p>大瀬古新町団地における P F I 的手法による市営住宅建替事業の一環として、本年度は実施方針と募集要項の作成・公表による事業者の募集及び事業者選定委員会による優先交渉権者の選定を、アドバイザー契約をしたコンサルタントの助言のもと、実施いたしました。</p> <p>なお、この事業の優先交渉権者は平成 15 年度 4 月に決定し、基本協定締結後、事業に着手し、1 期工区の住宅 (80 戸) が平成 16 年 12 月頃、2 期工区の住宅 (40 戸) が平成 18 年 1 月頃に管理開始の予定です。</p>				

〔大瀬古新町市営住宅建設事業費〕

12,603,279 円

事業区分 (施行箇所)	事業内容	実施額	うち特定財源	
・ PFI 的 事業 業務	委託料 事務費	11,378,130		
・ 事業者選定委員会運 営費用	報償費 事務費	725,149		
・ 次点事業者提案報償	報償費	500,000		
大瀬古新町市営住宅建設事業費 計		12,603,279		